



森と海の自然科 2021 年 12 月 25 日

京都南部の疎水(鴨川運河)巡りの散策あれこれ 報告書

日時 12 月 23 日(木) 10 時 30 分～15 時

集合場所 京阪鳥羽街道駅 改札口

参加者 16 名

行程 鳥羽駅→高松橋→疎水沿いの道→横縄橋→伏見稲荷神社→ぬりこべ地蔵→茶碗子の井戸→
石峰寺→宝塔寺→師団橋→藤森神社→墨染発電所→欣浄寺→京阪墨染駅解散

10 月 21 日京都北部疎水巡りに続き第 2 弾、12 月 23 日(木)は南部疎水巡りでした。

＊京阪鳥羽街道駅直ぐ傍にある高松橋広場から疎水沿いの道を歩く。

疎水にかかる橋桁にはそれぞれ紋章がついている。

横縄橋(六芒星)、師団橋(五芒星)と呼ばれこれは 陸軍のシンボルマークらしい。

＊伏見稲荷神社で少々早い「参拝」を済ませ人混みを離れ少し歩くと

「ぬりこべ地蔵」と言われる小さなお堂に。このお地蔵さんはなんと歯痛にご利益があるとのこと。

お堂の中を覗くと沢山のはがきが積まれていた。恐らく全国から届けられているのであろう。

信仰の厚さを感じる。

＊京都の名水の一つと言われている湧き水「茶碗子の井戸」、伝えによれば昔、茶の湯に用いていた
宇治川の水がいつもと違うことを主人は見破り問い詰めると使いの者は、途中で水をこぼしこの湧
水を持ち帰ったことを恐る恐る話すと叱られるどころか「宇治川の水より良い」とほめられ宇治ま
での遠出の必要がなくなったそうだ。

＊次に石峰寺に向かう。伊藤若冲が草庵を結んだ禅道場。安永の半ばより若冲が下絵を描き 10 年余
りかけて裏山に 5 百羅漢を安置。竹林に囲まれた羅漢は苔むして様々な表情を見ることが出来、中々
趣があった。 門前で集合写真。

＊その後、藤森神社にて昼食。ご神水「不二の水」は有名で二つとない美味しい水と言われる湧き水、
勝ち運を授ける水と言い伝えられている。

＊琵琶湖疎水の最終地点である鴨川運河に位置している墨染水力発電所のダムの高低差は約 15m。

発電所の船溜まりを橋から眺め京阪墨染駅を通過

＊「伏見の大仏」のある欣浄寺へ

道路の脇に駐車場があり大きな白い建物の裏手から回ると正面に、本堂に入ると奥に大仏様が鎮座。

木造では日本一大きい大仏に圧倒される。大仏様の拝観は要予約となっており普段は公開していないとのこと。圭三さんが予約して下さっていました。

*本堂前には庭園が広がり今も残る池は「姿見の池」と言われている。

深草少将と小野小町の悲恋物語、深草少将が小野小町に会いに行く前に姿を映したそうだ。

15:00 京阪墨染駅で解散

今年最後の活動でした。皆さまお疲れ様でした。

来年も又楽しい活動ができますように



横縄橋



師団橋



伏見稲荷大社



茶碗子の井戸



ぬりこべ地蔵



若冲門前



五百羅漢



墨染水力発電所



伏見大仏